

「人事選考・資格審査報告書」，「学部担当資格審査報告書」，「大学院担当資格審査報告書」，「個人調書」，「教育研究業績書」の様式についての申し合わせ

[平成30年 6月27日学系会議決定]

[令和5年10月31日最終改正]

1. 本申し合わせは，学術研究院環境システム科学系会議規程（平成30年島大環境システム科学系規則第1号）第7条第4項に基づき，環境システム科学系人事委員会による人事選考において用いる様式について定める。

2. 前項の人事選考において用いる「人事選考・資格審査報告書」，「学部担当資格審査報告書」，「大学院担当資格審査報告書」，「個人調書」，及び「教育研究業績書」の様式については，それぞれ，別紙様式第1号，第2号，第3号，第4号及び第5号によるものとする。

3. 教育業績

- ・ [教育上の業績] ，「職務上の実績」の項に大別する。

[教育上の業績]

以下の例を参考に記載する。

- ・ 優れた教育方法の実践例
- ・ 制作した教材の概要
- ・ 審査を受けようとする科目に関するシラバス案（審査対象教員が作成したもの）
- ・ 大学での自己点検・評価の一環として，教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）
- ・ 大学教育改善に関する団体等での活動の概要

「職務上の実績」

以下の例を参考に記載する。

- ・ 開発した新製品・製法，作物等の新品種などの概要
- ・ 取得した特許等の概要
- ・ 大学との共同研究による研究実績がある場合その概要，成果，当該研究者の役割
- ・ 国際援助・開発，先端技術，国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績
- ・ コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用方法，ソフト・システム開発歴）
- ・ 各種の資格取得，受賞等の経歴
- ・ 大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習，企業実習等）
- ・ 企業内教育，大学公開講座，社会教育講座の講師としての講義等の概要
- ・ 国家試験問題の作成等
- ・ 外部資金の獲得

4. 研究業績

- ・ 「著書・総説」，「学術論文」，「建築作品」，「その他」の項に大別する。

「著書・総説」

- ・「専門書」、「翻訳書」、「総説」、「その他」に小分類して記載する。
- ・私費出版物は著書から除外する。一般書、辞典、便覧、ハンドブック、年鑑、設計基準等は小分類「その他」に含める。
- ・著書題名、出版社、ページ数、発行年月を記載する。分担執筆の場合は最初に著者名を入れ、ページ数は分担した箇所を記載する。

「学術論文」

- ・原著論文のみを記載し、「審査誌」と「無審査誌」に小分類して記載する。
- ・「審査誌」とは専門分野のレフェリーによる厳密な審査を受けて公表された原著論文（短報・速報を含む）を指す。
- ・本学の学内紀要等は「無審査誌」とする。
- ・国際学会のProceedingsは内容により「学術論文」に含めても良いが、簡単な講演要旨のようなものは除外する。
- ・各研究業績については、著者名、表題、発行所・発表雑誌の名称、巻号及びページ数、発表年月を記載する。
- ・申請者が投稿責任者になっている原著論文には、申請者の名前に（*）印を付す。

「建築作品」

- ・「受賞作品」と「非受賞作品」に小分類して記載する。

「その他」

- ・学位論文、専門誌の解説・トピックス記事、招待講演、科研費報告書や各種の調査・測量・設計等の報告書、特許公報、一般新聞・雑誌等への署名記事等がこれに該当する。
- ・若手研究者の場合には学会での講演要旨集を含めてもよい。
- ・記載内容は、「著書・総説」、「学術論文」に準ずる。

附 則

この申合せは、平成30年6月27日から実施する。

附 則（平成30年8月20日一部改正）

この申合せは、平成30年8月20日から実施する。

附 則（令和5年6月7日一部改正）

この申合せは、令和5年6月7日から実施する。

附 則（令和5年10月31日一部改正）

この申合せは、令和5年10月31日から実施する。

個人調書(Personal history)

※全て西暦で記載

氏名(ふりがな) : 島大 太郎 (しまだい たろう)

Name :

生年月日 : 19●●年●●月●●日生 (満●●歳) 男・女

Date of Birth (Year/Month/Day) : (Age years) Sex : Male・Female

本籍地又は国籍 : 島根県

Nationality :

現住所 : 島根県松江市西川津町○○○

Current Address :

学歴(年月・事項を分けて)

Academic background (Date of completion by Year/Month for each)

- 年●●月 島根大学生物資源科学部××学科 入学
- 年●●月 島根大学生物資源科学部××学科 卒業
- 年●●月 島根大学大学院自然科学研究科博士前期課程 入学
- 年●●月 島根大学大学院自然科学研究科博士前期課程 修了
- 年●●月 島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程 入学
- 年●●月 島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程 修了
- 年●●月 博士(理学)(島根大学) 博乙第××××号

職歴(年月・事項を分けて)

Work Experience (Year/Month)

- 年●●月 - ●●●●年●●月 日本学術振興会特別研究員 (DC1)
- 年●●月 - ●●●●年●●月 ●●大学 研究員
- 年●●月 - ●●●●年●●月 ●●研究所 主任研究員
- 年●●月 - ●●●●年●●月 株式会社○○ 研究員
- 年●●月 - ●●●●年●●月 島根大学 生物資源科学部 助教
- 年●●月 - 島根大学学術研究員環境システム科学系 准教授 (現在に至る)
- 年●●月 - 島根大学 総合理工学部 担当 (現在に至る)
- 年●●月 - 島根大学 自然科学研究科 担当 (現在に至る)

学会及び社会における活動等

Activities in social and academic communities

- 年●●月 - 日本植物病理学会会員 (現在に至る)

別紙様式第4号 (Form 4)

- 年●●月－●●●●年●●月 日本○○学会会員
- 年●●月 第●回○○学会全国大会実行委員長
- 年●●月－●●●●年●●月 日本××学会 編集委員長
- 年●●月－ 日本××学会 広報委員 (現在に至る)
- 年●●月－ 島根県××委員会委員 (現在に至る)
- 年●●月－●●●●年●●月 ○○大学○○センター 外部評価委員

賞罰 (年月・事項を分けて)

Rewards and punishments (Year/Month)

- 年●●月 2020年度●●学会論文賞
- 年●●月 島根大学研究者表彰(奨励)
- 年●●月 第●会××学会××大会ベストポスター賞

職務の状況 Professional Activities at Present Position

勤務先 Name of workplace	職名 Position	学部, 学科等の名称 (Name of Faculty or department)	担当授業科目名 Course title	毎週担当授業時数 Number of class hours per week			備考 Other Comments	
				専任 Permanent post	兼担 Concurrent post (Faculty members from other faculties within the university)	兼任 Concurrent post (Faculty members from other universities)		計 Total
島根大学	教授	生物資源科学部 環境共生科学科	環境共生科学概論	○			2	前期・分担
			植物病理学実験	○			1	通年
			卒業論文	○			8	通年
		自然科学研究科	特別研究 I～IV	○			各2	各セメスター

20××年○月○日

Date (Year/Month/Day)

氏名 島大 太郎

Name

- ・「専任」「兼担」「兼任」のうち該当する種別に「○」を記入すること。
- ・「計」の欄は、当該授業科目の単位数を記入すること

別紙様式第5号 (Form 5)

教育研究業績書 (Educational / Academic achievements)

※年代が古い順に西暦で記載

1. 教育業績 (Educational achievements)

教育上の業績 Educational achievements (年月・事項を分けて) (Date of completion by Year/Month for each)

- 1) 2018年 11月 ○○○に関する内容で島根大学教育実践表彰された。
- 2) 2019年 8月 ○○高校のSSH プログラムで指導を担当していたグループが優秀賞を受賞した。
- 3) 2020年 3月 JABEE 教育プログラム
- 4) 2022年 5月 指導学生が○○学会でポスター賞を受賞した。
- 5)

職務上の業績 Career achievements (年月・事項を分けて) (Year/Month)

以下は記載例です。その他に追加できる項目があれば、追加してください。該当しない項目は記載いただく必要はありません。

「特許出願等」

- 1) 2010年 8月 ○○の培養方法, 特開 20××-××××××
- 2) 2022年 12月 ○○装置および評価方法, 特願 2022-××××××
- 3)

「資格取得」

- 1) 2008年 12月 第一種衛生管理者免許取得
- 2) 2012年 8月 衛生工学衛生管理者免許取得
- 3)

「受賞等」

- 1) 2007年 8月 第○回 ○○○○学会 奨励賞
- 2) 2015年 10月 平成○年 ○○○学会 論文賞
- 3) 2023年 3月 2022年度 ○○○○学会 学会賞

「外部資金等の獲得状況」

・科学研究費助成事業

- 1) 2010年 4月-2013年 3月 若手研究 B, ○○の影響評価法の開発, 4,000,000円, 代表
- 2) 2018年 4月-2022年 3月 基盤研究 B, ○を用いた防除方法の開発, 800,000円, 分担
- 3)

・共同研究

- 1) 2021年 12月-2022年 3月 株式会社○○, ○○装置の開発に関する研究, 1,500,000円, 代表
- 2) 2023年 1月-2024年 3月 ○○株式会社, ○○の糸状菌に対する効果に関する研究, 200,000円, 分担
- 3)

・受託研究

- 1) 2021年 12月-2022年 3月 ○○○○機構, qPCR を用いた○○DNA 検出に関する研究, 12,500,000円, 代表
- 2) 2023年 1月-2024年 3月 ○○○省, 環境 DNA 技術を用いた○○の検出に関する研究, 200,000円, 分担
- 3)

別紙様式第5号 (Form 5)

・寄付金

- 1) 2019年10月 ○○○財団, 病害防除に関する研究, 500,000円, 代表
- 2) 2020年1月 ○○株式会社, 環境保全に関する研究, 200,000円, 代表
- 3)

「学内委員等の実績」

・全学委員

- 1) 2019年4月-2021年3月 総合情報処理センター運営委員会委員
- 2) 2022年4月- 島根大学ダイバーシティ推進室員
- 3)

・部局委員

- 1) 2010年4月-2012年3月 ○○学部入学試験委員会委員
- 2) 2022年4月- ○○研究科学務委員
- 3)

「学外委員等の実績」

- 1) 2015年4月-2018年3月 ○○県○○○○評価委員会委員
- 2) 2020年4月-2022年3月 財団法人○○○委員会 委員長
- 3)

「学会等の委員の実績」

- 1) 2018年3月 ○○学会全国大会 実行委員長
- 2) 2019年4月-2020年3月 一般社団法人○○学会 評議員
- 3) 2023年4月- ○○研究会 原著編集委員
- 4)

「企業内教育, 大学公開講座, 社会教育講座の講師」

- 1) 2021年8月 ○○○リカレントプログラムで講師として, ○○を担当した.
- 2) 2022年4月 大学開放事業として「○○○○」を実施し, ○○○○の講義を担当した.
- 3) 2022年12月 ○○○株式会社で「○○セミナー」の講師を担当した.
- 4) 2023年4月 ○○高校のSSHプログラムで○○に関する講義を担当した.
- 5)

「その他」

- 1) 2020年4月-2021年3月 ○○○ (国家資格) の問題作成を担当した.
- 2)

※年代が古い順に西暦で記載する. ※雑誌名等は省略せずに記載する. 学術論文にはDOIを記載する (ない論文は記載不要). 申請者の部分に下線を記載する. 申請者がCorresponding Author (CA) の場合には氏名右横に*を記載する. 申請者以外がCA の場合, またCA の明記のない論文の場合は記載不要.

2. 研究業績 (Research achievements)

(1) 著書・総説 (Books・Reviews)

「専門書」 (Specialized books)

- 1) 島根太郎・山口次郎: きのこが生産する抗菌物質の研究法. きのこを活用した研究法 (大山一郎ら編). ソフトサイエンス社, 東京, pp. 527-533, 2018.6 ISBN: XXX-XXXX-XXXX-XXXX
- 2) Shimane, T., Yasugi, I., Tokyo, J.: rice plant systemic induced resistance. In: Molecular biology of

別紙様式第5号 (Form 5)

rice (Okayama, H. et al. eds). Springer, Berlin, pp. 257-281, 2020.3. ISBN: XXX-XXXX-XXXX-XXXX

「翻訳書」(Translated books)

1)

「総説」(Reviews)

1) Shimane, T., Yamaguchi, J.: IAA receptor and its role in signaling in plants. Annual Review of Plant Physiology. 13: 200-220, 2011.3. DOI: <https://doi.org/101016/xxxx.xxxx>

「その他」(Other)

1)

(2) 学術論文 (Academic publications)

「審査誌」(Peer-reviewed articles)

1) 島大太郎*・島大花子・松江一郎: 宍道湖の水質評価に関する基礎的研究. 日本〇〇学会論文集. 308: 25-34, 2019.6. DOI: <https://doi.org/101019/xxxx.xxxx>

2) Shimane, T., Shimadai, H., Yamaguchi, J.: Biological control of powdery mildew caused by *Podosphaera xanthii* in cucumber by *Streptomyces blastmyceticus* strain STS1 isolated in Shimane Prefecture. Journal of Plant Pathology. 24:113-125, 2013.12. DOI: <https://doi.org/101016/xxxx.xxxx>

3)

「無審査誌」(Non-peer reviewed articles)

1) 島大花子・松江一郎・島大太郎*: 三瓶山の土壌に関する研究. 〇〇研究会報告集. 308: 25-34, 2019.6

2) Sanbe, T., Gotsu, K., Matsue, T., Shimadai, T. Antifungal activity of leaf extracts from several buckwheat varieties against plant pathogenic fungi. Bulletin of the Faculty of Life and Environmental Science, Shimane University. 201: 23-35. 2020.9. DOI: <https://doi.org/101016/xxxx.xxxx>

3)

(3) 建築作品 (Architectural works)

「受賞作品」(Awarded works)

1) 〇〇研究室・〇〇〇建築設計事務所, 〇〇市立〇〇文化ホール新築, 2008.3 竣工, 2009 年度〇〇建築コンクール・最優秀賞受賞(授与日 2010.3.3), 〇〇〇〇は設計チームの一員として建築設計プロポーザル・基本設計・実施設計・施工監理を分担.

「非受賞作品」(Non-awarded works)

1) 〇〇研究室・〇〇〇建築設計事務所, 〇〇市立〇〇図書館新築, 2020.3 竣工, 研究室として基本計画策定に参画.

2) 〇〇研究室, 〇〇病院〇〇室内装改修デザイン, 2019.3 竣工, 研究室として改修基本デザインを作成.

(4) その他 (Other)

1) 島大太郎・島大花子: 〇〇病害の新規防除方法. 〇〇大学×研究センター研究成果報告書 213: 18-21. 2015.3

2) 島大太郎: 〇〇を用いた〇〇改善に関する研究, 学位論文(博士), pp.1-161, 2009.3.

3)

20×× 年 ○ 月 ○ 日

Date (Year/Month/Day)

氏名 島大 太郎

Name